

ゆうこうの家の通信 VOL. 7

発行：発達・心理相談センター 「ゆうこうの家」

住所：名古屋市天白区表山 1-1753-2

電話：052(880)7704

「ゆうこうの家」は、発達障がいを始めとする障がいや、こころの問題をもつ人々に対し、療育やカウンセリングを中心とした支援活動を行い、より健やかで豊かな成長と、社会への適応を支援することを目的としています。「ゆうこうの家」通信は職員や利用者の家族の編集・取材・協力により不定期に発行しています。利用者の方、これから御利用を考えていらっしゃる方の参考になりましたら幸いです。

2015 年もゆうこうの家では、いくつものイベントを実施しました。今回も当時の写真を交えてそれらを振り返ってみたいと思います。

ゆうこうキャンプ in 「若狭湾」

8 月 10～12 日にかけて 22 名（高卒者 3 名を含む）が参加しました。海だ！山だ！自然いっぱいの若狭湾での宿泊も今回で 3 回目になります。毎回、少しずつですが、活動内容を変えています。今回は新しく屋内スポーツを取り入れてみたところ…。さすが小学 5 年生以上！みんなで協力して、ドッジボールやドッジビーのルールを決めました。さらに今回は、今までは子ども側だった高卒者 3 名も半分スタッフとして参加、荷物運びなどのお手伝いを担ってもらいました。



ゆうこうキャンプ in 「大高」

7 月 29～31 日には大高にある名古屋市青少年宿泊センターでお泊り会。小学生 14 名の参加です。2 日間プールで楽しんでも、まだまだみんな元気一杯で、夜にはスイカ割りや花火も





行いました。先生がスイカを素手で割ったり、シューッと音を立てながら花火の光りが大きくなる時、子どもたちの目はキラキラと輝いていました。他にも、大高緑地公園内のゴーカートやベビーゴルフなど、それぞれ好きな活動を選択しながら、思い切り遊び尽くしました。



ながら、思い切り遊び尽くしました。



親子ヨガ教室

8月19日に7人（保護者4名、子ども3名）が参加しました。今回は、子どもの参加もOKということで、親子でヨガに参加された方もいました。子どもには少し難しいポーズもあったようですが、バランスを崩しながらも何とかポーズしようとする姿がかわいらしかったです。



就労実習

6月7日に前半5名、後半11名。11月8日には前半7名、後半9名の計4回にわたって行われたのは、主に特別支援学級、特別支援学校の子供を中心とした就労実習です。

3時間の実習で、クッキーを作ったり、ボールペンの組立作業やバレッタ作り、キーホルダー作りなど、それぞれの子どものレベルに合った作業活動に取り組みました。

教育講演会

11月28日に「発達に偏りがある子どもが、より良い学校生活をおくるために」という演題で、教育講演会を行いました。52名の方にご参加いただきました。

いつもは外部から先生をお招きするのですが、今回は、来年のゆうこうの家10周年記念に備えて、療育責任者の華山が講師を務めさせていただきました。

お話ししたテーマは4つ。① 発達に偏りのある子ども ② 学校と家庭での支援 ③ 様々なリソース ④ 在籍場所・進路について

ついつい話したい内容を盛り込みすぎて、時間を少し押ししてしまったことが反省材料とのこと。

また、今回は、ゆうこうの家に通っている中学生による三線（さんしん）演奏も併せて行いました。中学生の堂々とした弾き語りに、聴衆の皆さんから拍手喝采でした。

ゆうこうの家も、平成 28 年度で、10 周年を迎えることになりました。10 周年の節目には、また素敵な講師の先生をお迎えして、記念に残る講演会を…と考えてます。

保護者交流会

7 月 5 日に 28 家族 33 名の方、1 月 24 日に 27 家族 30 名の方にご参加いただきました。

いつもながらに、先輩お母さんたちに協力していただき、たくさんの助言をいただきました。実は、先輩お母さんたちから、以前と状況が変わってるから…と心配する声もあったのですが、参加した保護者の方からは「すごくためになった」、「もっと早く聞きたかった」という声をたくさんいただきました。時代は違えど、子育てで苦労した長年の経験はとても貴重、これに変わりはないようです。

絵画教室

平成 27 年度は、絵画教室を 3 回開催しました。

4 月 26 日に 13 人、9 月 13 日に 10 人、2 月 7 日に 10 人
講師の森先生の指導の下、自由かつユニークな作品が仕上がりました。



ゆうこう展覧会

11 月 29 日の展覧会では出展者 7 名、43 名の来場者がありました。

絵画教室で描いた絵など、子どもたちの絵が、カレンダー、手さげ袋、キーホルダー、絵はがきになり、グッズとして販売されました。売れ筋の人気商品もあり、出展して



くれた子どもたちも、自分の絵が手さげ袋やキーホルダーなど違う形になったことをとても喜んでいました。

余暇支援教室

- ①小学生空手スポーツ教室（小学1～4年生）
- ②小学生空手スポーツ教室（小学5年性以上）
- ③中学生グループ活動教室
- ④高校生グループ活動教室
- ⑤女の子グループリリー
- ⑥ゆうこうサークル(高校卒業後・社会人グループ)

今年度から、高校卒業後の活動グループとして、ゆうこうサークルが始まりました。月2回の活動の中で、外に出かけていくことも多く、カラオケ、ボーリング、ス



ポッチャ、リニア鉄道館、外食など、ゆうこうの家を飛び出して活動することも多くありました。平成28年度からは、新しい余暇支援教室「将棋クラブ」を始める予定です。これまでは文化系の余暇支援教室がなかったので、また新しい仲間との出会いの場にしたいと思っています。さらに、新たな女の子グループについても検討しているところです。当初1つしかなかった余暇支援教室も、高齢化やニーズの多様性に伴い、少しずつですが、活動の幅を広げることができてきました。また、年月を重ねる中で、グループ活動の大切さを再確認させられることが多いので、今後もニーズに合わせて余暇支援教室を拡充することができればと思っています。



ゆうこうの家 代表挨拶 魚住 君枝子

「ゆうこうの家通信」NO7をおかげさまで今年もお届けできることになりました。

広汎性発達障がい、自閉症、アスペルガー症候群はDSM5という新しい病名分類では、自閉症スペクトラム（ASD）一つに括られました。そのうちASDという略名が一般化するでしょう。ASDはここ20年ほどの間に知られてきました。

最近、大人の発達障がいという言葉もよく聞かれます。表山クリニックにも就労後適応障害を起こして離職した方が数名通院中です。当時は知られていなかったASDです。その方々は元気でやや変わった子とみられていたということですが、もし子どもの時にしっかり支援されていたら、今のようではなかったかもしれない、このことをぜひ今の保護者、当事者に知って欲しいといわれます。大人になりかけている「ゆうこうの家」の卒業生？達には、自己理解のもとに援助を求める力（授援力というそうです）を付けてほしいと思います。